

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画(第9回変更)

しきしま ふたばちく
敷島・双葉地区

やまなしけん かいし
山梨県 甲斐市

平成26年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	やまなしけん 山梨県	市町村名	かいし 甲斐市	地区名	しきしま ふたば ちく 敷島・双葉地区	面積	1,047 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

目標
大目標 人が安心、安全に暮らし、活気あふれるまちづくりの推進
目標1 安全で快適に暮らせるまちづくり
目標2 活気にあふれるまちづくり
目標3 心豊かで文化のかおるまちづくり

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>○本市では、平成16年9月1日の合併以降、第1次甲斐市総合計画(平成18年3月)、地域防災計画(平成18年3月)、都市計画マスタープラン(平成21年3月)、緑の基本計画(平成21年3月)、甲斐市庁舎整備建設基本計画(平成20年5月)等を策定し、各種まちづくりの取り組みを行っているところである。</p> <p>○第1次甲斐市総合計画(平成18年3月)では、将来像「緑と活力あふれる生活快適都市」と6つのまちづくり基本施策を掲げ、当該地区については、地域の特性を活かした計画的な土地利用の推進、市庁舎等、多様な地域拠点や地域資源を活かした観光交流拠点の育成、都市基盤整備や防災機能の向上、総合的な生活環境の充実などの方向性が示されている。</p> <p>○また、総合計画と併せて、平成18年3月に甲斐市地域防災計画を策定し、防災機能の強化のための各種の事業を計画し、災害に強いまちづくりを目指している。</p> <p>○本市では、これまで、先導的なまちづくりプロジェクトとして、「竜王駅周辺地区」を対象に、「まちづくり交付金事業」を活用し、平成16年度から平成20年度まで、竜王駅の橋上駅舎整備や竜王駅南通り線などの周辺道路整備及び竜王駅を中心としたコミュニティバスの試行運転などに取り組んできたところである。引き続き、地域の核となる地区の機能整備や面的な整備を行うため、第1次甲斐市総合計画に位置付けられているJR塩崎駅周辺地域の基盤整備を行い、利便性の向上と安全性の確保及びバリアフリー化を図るものである。</p>
課題
<p>○東海地震や釜無川活断層などの大規模地震が想定されるなか、身近な避難場所である公共施設の耐震化や機能の充実、非常時に備えた防災情報通信システムの整備など、防災対策の一層の強化を図ることが必要である。</p> <p>○交流人口の拡大、観光の振興、地域活性化を促進するため、良好な地域資源である矢木羽湖周辺については、「梅の里」や「梅の里クラインガルテン」等と連携し、本市北部の観光・交流エリアにふさわしい観光交流機能の強化と魅力づくりが必要である。</p> <p>○災害に対する意識の向上、市民の健康増進などが高まるなか、老朽化した既存交流・教育施設の耐震化及び更新や避難所に位置付けられている教育施設の拡充が必要である。</p> <p>○市の西側ターミナルとしての役割を担う塩崎駅周辺は、朝夕の通勤通学者の利用が非常に多い地域であり、ピーク時の周辺道路は交通量が多いことから、歩行者の安全確保や駅前広場の整備及び各施設のバリアフリー化などが必要である。</p>
将来ビジョン(中長期)
<p>第1次甲斐市総合計画では、当該地区の主要なまちづくり施策として、次のような方向を示している。</p> <p>○まさか(大規模災害や事件・事故)の不安が少ないまちづくりを推進し、非常時に迅速かつ的確に対応できる防災・防火体制づくりを進める。</p> <p>○多様な担い手による活力ある農林業が展開されるまちづくり(都市農山村交流)を推進し、地域の活性化を図る。</p> <p>○「学習やスポーツを通じ生きがいもてるまちづくり」や「豊かな人格と確かな学力を育むまちづくり」を推進し、生涯スポーツの推進、学校教育の充実を図る。</p> <p>○拠点を中心に高度な都市機能が備わるまちづくりを推進し、地域拠点となる基盤整備を推進する。</p>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度		
防災情報のネットワークの整備率	%	防災・災害時の情報伝達区域の整備率	災害及び防災情報を、住民に迅速かつ的確に伝達することを目的に、これまでの伝達区域を拡張する。	85	H・21	100	H26
防災対策への満足度	%	安心・安全に暮らせるまちづくりの満足度	避難場所の機能強化や防災設備の整備により、地域の防災対策の向上、市民の防災意識の高揚を図る。	50	H・21	70	H26
体育館の利用団体数	件/年	体育館の利用団体数	市民ニーズに応える新たな体育館の整備により、利用者の増加とスポーツの振興、市民の健康増進、地域の活性化を目指す。	683	H・21	750	H26
駅から公共施設及び商業施設を結ぶ歩行者空間の安全性の確保	%	歩行者空間の整備率	駅を中心とした交通施設のバリアフリー化を図り、安心して安全な施設整備を図る。	64	H・22	89	H26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1(住民の安全を守る防災情報通信システムの整備)	
<p>・災害時により迅速・的確に情報伝達を行うことにより、市民の生命財産の保護と被害の軽減を図り、国が推進する情報通信システムをいち早く取り入れるため、現在の防災行政無線をアナログ方式からデジタル方式に変更し、高性能な情報通信システムを構築し、安全なまちづくりの整備を図る。</p>	<p>地域生活基盤施設(基幹事業/放送施設・防災行政無線)</p>
整備方針2(観光交流エリアの整備と魅力づくり)	
<p>・本市北部の観光・交流エリアでは、現在、茅ヶ岳東部広域農道の整備、梅の里事業、クラインガルテン事業が進められており、矢木羽湖周辺についても、これらの事業と連携を図りつつ、良好な地域資源の活用と道路整備や体験施設等の整備を進め、地域の活性化を図る。 ・北部地域の美しい自然景観の保全を推進し、良好な景観の保全・形成を図る。</p>	<p>高次都市施設(基幹事業/炭焼き体験小屋) 道路(基幹事業/矢木羽湖東道路改良) 事業活用調査(提案事業/景観計画策定業務)</p>
整備方針3(スポーツ活動拠点や教育施設の整備・充実)	
<p>・老朽化が進んでいる既存施設を市民ニーズに応える新しいスポーツ活動の拠点として建替え、機能の充実を図る。 ・人口増加に伴う児童数の増加により、今後、小学校の教室数が不足することが予測されており、教室不足の解消と教育環境の充実を目的として校舎の増築を図る。 ・これらの施設は、ともに、指定避難場所であるため、施設の耐震化、防災機能の充実を図る。</p>	<p>公園(基幹事業/双葉スポーツ公園駐車場整備事業(仮称)竜地公園整備事業) 地域創造支援事業(提案事業/敷島体育館天井改修事業)</p>
整備方針4(交通環境の改善による駅利用者の利便性向上)	
<p>・塩崎駅周辺の交通網は、県道甲府韭崎線と国道20号が並走、また、県道南アルプス甲斐線が交差しており、道路交通網の立地条件が良いことから、近年、大型集客施設が配置された。塩崎駅は、これまでの通勤通学者の利用に加え、新たにこの商業施設への買い物客の最寄り駅として利用され、乗降客数が増加している駅である。 ・この状況を踏まえ、塩崎駅施設の改築とあわせ南口駅前広場の改修、北口駅前広場の新設及び周辺道路の歩行者空間の確保など安全性の確保及び利便性の向上を図る。</p>	<p>道路(基幹事業/市道新町山本線道路改良) 道路(基幹事業/塩崎駅南口北口駅前広場整備) 道路(基幹事業/市道新町大笠線道路改良) 道路(基幹事業/市道双田線道路改良) 地域生活基盤施設(基幹事業/塩崎駅南北駅前広場駐輪場整備) 地域生活基盤施設(基幹事業/塩崎駅周辺情報案内板整備) 地域創造支援事業(提案事業/塩崎駅施設整備) 地域創造支援事業(提案事業/塩崎駅周辺防犯カメラ設置事業)</p>
その他	

都市再生整備計画の区域

<p>敷島・双葉地区(山梨県甲斐市)</p>	<p>面積 1,047.0 ha</p>	<p>区域 敷島地区: 中下条、天狗沢、大久保、牛匂、亀沢、吉沢 双葉地区: 下今井、龍地、大笠、岩森、志田、宇津谷、菖蒲澤、園子新居</p>
------------------------	----------------------	---

